

# 令和3年度 確かな学力向上推進プラン

令和3年4月1日現在  
江戸川区立東葛西小学校

学力向上に向けた目標値									
成果指標：都学力調査における到達目標値									
教科	平成30年度 結果	平成31年度 目標値	平成31年度 結果	令和2年度 目標値	令和2年度 結果	令和3年度 目標値	令和3年度 結果	令和4年度 目標値	令和4年度 結果
国語	65.6%	67%	66%			67%			
社会	73.7%	75%	67.2%			75%			
算数	52.6%	55%	59.1%			55%			
理科	70.6%	72%	55.8%			72%			

学力向上に向けた取組							
論点	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の定着	<div style="text-align: center;"> <p><b>実態把握</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内学力テストの実施（毎学期1回）</li> <li>○漢字のまとめテストの実施（毎学期1回）</li> </ul> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>基礎的・基本的な学力の定着</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○九九テストの実施（2回～3回）</li> <li>○放課後（35回）補習、朝学習（週2回）の実施</li> <li>○東京都ベーシックドリルの活用（朝学習）</li> <li>○漢字ミニテストの実施（定期的）</li> </ul> </div> <div style="text-align: right;"> <p><b>有効性の 見取り</b></p> </div>						<ul style="list-style-type: none"> <li>○九九テスト⇒各クラス合格者9割以上</li> <li>○校内学力調査⇒目標到達率70%</li> <li>○漢字のまとめテスト⇒各クラス合格者8割以上</li> </ul>
論点2 学習規律の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>○声のものさしの掲示</li> <li>○学習の約束の掲示</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師・児童が話をする際に、9割以上の児童が話をしている人に体を向けている状態にする。</li> </ul>
論点3 生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「江戸川っ子家庭ルール」に基づく、家庭と連携した生活習慣の見直し。</li> <li>○「東葛西小のよい子」を意識して生活できるように声掛けをする。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>○江戸川っ子家庭ルール週間の結果、家庭で決めたルールが守られている児童を全学級で70%以上を目指す。</li> </ul>
論点4 家庭学習の指導の充実	○計算ドリルか算数プリント、音読、漢字練習の実施	○計算ドリルか算数プリント、音読、漢字練習の実施	○計算ドリル、漢字練習、音読の実施	○計算ドリル、漢字練習、音読の実施	○自主学習ノートの実施（週1回2ページ）	○自主学習ノートの実施（週1回2ページ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各クラス家庭学習の定着率80%以上を目指す。</li> </ul>
論点5 言語に関する指導の充実	○朝読書の実施（○保護者による読み聞かせの実施） ○ペアや小グループ、全体での「話し合い」「発表」を導入		○朝読書の実施（○保護者による読み聞かせの実施）※今年度は未実施 （○たてわり班での読み聞かせの実施） ○ペアや小グループ、全体での「話し合い」「発表」を導入				<ul style="list-style-type: none"> <li>○都学力調査「児童・生徒質問紙」における設問「話し合う活動をよく行っているか」への肯定的な回答で90%以上を目指す。</li> </ul>
論点6 教員の学習指導力の向上	○初任者から3年次教員を対象とした、校長による校内OJTの実施（○主任教諭による月例の授業公開および検討会の実施）※今年度は未実施						<ul style="list-style-type: none"> <li>○都学力調査「児童・生徒質問紙」における設問「各教科の授業の内容はよく分かりますか」への肯定的な回答で90%以上を目指す。</li> </ul>

「表現する力」を伸ばすための各教科の授業改善に向けた指導の重点						
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
国語	・ひらがなの読み書き、簡単な文章の作成を正確に行うことができるようにする。	・事柄の順序を考えたり様子を想像したりしながら、語と語や文と文の続き方に気を付けて書きたいことを表現することができるようにする。	・説明文の要点を明確にし、300文字程度で自分の書きたいことを表現できるようにする。	・説明文の要点を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、400文字程度で自分の書きたいことを表現できるようにする。	・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開をとらえ、自分の考えを表現することができるようにする。	・事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に表現したり詳しく表現したりすることができるようにする。
社会			・自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布などに着目して地理的環境の特色を捉え、それについて簡単な考察が書けるようになる。	・水、電気、ガスを供給するための事業の様子を捉え、それらが果たす役割について自分の考えを表現することができるようにする。	・世界の国々や日本の関わりについて自分の考えを表現することができるようにする。	・日本の歴史上の主な事象を捉え、調べたことや考えたことを表現することができるようにする。
算数	・絵や問題文から、たし算・ひき算の式を正確に表すことができるようにする。	・絵や問題文から、かけ算の式を正確に表すことができるようにする。 ・九九を正確に言えるようにする。	・少数や分数を用いた計算の式や答えを正確に表すことができるようにする。	・少数や分数を用いた計算の式や答えを正確に表すとともに、友達同士で解法を教え合うことができるようにする。	・数量の関係を考察するとともに、百分率や円グラフなどを用いて資料の特徴を調べたことを表現することができるようにする。	・比や比例について理解し、数量の関係の考察に数量の考えを用いることができるようにするとともに、文字を用いて式に表すことができるようにする。
理科			・複数の事象を対応させ比べる活動を通して、共通点や差異点を説明できるようにする。	・解決したい問題について予想や仮説を発想する際に、既習事項や生活経験と関係付けて考え、説明できるようにする。	・解決したい問題について、解決の方法を様々な表現技法、素材を選び、のびのびと表現できるようにする。	・互いの予想や仮説を尊重しながら追究したり、観察や実験などの結果を基に振り返り、再検討したり、複数の観察や実験などから得た結果を基に考察をしたりしたことについて、説明できるようにする。
生活	・身近な人々、自然と触れ合う活動を工夫したり楽しんだりすることができるようにする。	・自分自身を見つめ、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができるようにする。				
音楽	・速度や強弱に気を付けながら、友達と楽しく演奏できるようにする。	・速度、強弱、音色などに気を付けながら、友達と音を合わせて演奏できるようにする。	・音色や響きなどの曲のようすに気を付けて演奏し、曲のよさを見出しながら演奏できるようにする。	・曲想と音楽の構造などの関わりについて気付くとともに、思いや意図をもって演奏できるようにする。	・曲想と音楽の構造などの関わりについて理解するとともに、思いや意図をもつてどのように表現したいかを考えるようにする。	・曲想と音楽の構造などの関わりを理解し、それらを生かしながら、思いや意図をもって表現を工夫できるようにする。
図画・工作	・クレヨンや絵の具を使って伸びやかに表現できるようにする。	・いろいろな材料や道具を使って、自分の思ったことなどをのびやかに表現できるようにする。	・自分の思ったこと、想像したことなどをのびのびと表現できるようにする。	・自分の思ったこと、想像したことなどをのびのびと自分らしく表現できるようにする。	・自分の思ったこと、想像したことなどを様々な表現技法、素材を選び、のびのびと表現できるようにする。	・自分の思ったこと、想像したことなどを様々な表現技法、素材を選び、色や形状の特徴を生かして表現できるようにする。
家庭					・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、家族の一員として生活をよりよくしようとすることができるようにする。	・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、家族の一員として生活をよりよくしようとすることができるようにする。
体育	・様々な運動遊びの行い方を工夫し、工夫したことを友達に伝えることができるようにする。	・集団での運動遊びを多く取り入れ、見合ったり褒め合ったりすることができるようにする。	・自分の運動に対する課題を見つけ、その解決のための方法や活動を友達と伝え合うことができるようにする。	・自分の運動の課題を見つけ、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。	・自分やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見つけ、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自分や仲間の考えたことを友達同士で伝え合うことができるようにする。	・自分やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見つけ、自分やグループに合った方法や活動を工夫するとともに、自分や友達の考えたことを周りに伝えることができるようにする。

